

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

十和田湖杉活用住宅「Waのいえ」

グループの名称

地場工務店 二代目が集結【しんけん会】

直近採択グループ番号

04-0327-0030

(グループ代表者)

代表者名

平内 健一

代表者印

代表者所属先

有限会社平内建築

代表者所在地

青森県三沢市大津4丁目12-138

代表者電話番号

0176-54-3877

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社下久保建材店

事務局担当者名

浄法寺 将之

印

事務局郵便番号

033-0022

事務局所在地

青森県三沢市大字三沢字堀口94-1339

事務局電話番号

0176-50-2131

事務局FAX

0176-50-2132

事務局担当者E-mail

m-johoji@shimokubo.ne.jp



B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		7	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	7	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		8	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	8	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		4	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		1	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限165万円)		3	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0棟	/			
			0㎡				
		申請が未確定	0棟				
			0㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	補助事業への参加を希望する工務店に最低1戸を配分し、その上でこれまで事業への取り組み実績が少ない工務店や受注が確実視されている工務店に優先的に配分していく。						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	14戸	交付申請戸数	14戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	11戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	3戸	交付申請戸数	3戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	3戸	交付申請戸数	2戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	4戸	交付申請戸数	4戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	0棟	交付申請戸数	0棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0戸	
当初予算	採択床面積	0㎡	交付申請床面積	0㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0㎡	



















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 十和田湖杉活用住宅「Waのいえ」	(地域型住宅供給対象地域) 青森県三八上北地域
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 地場工務店 二代目が集結【しんけん会】	(結成年) 2003 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0327-0030	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	断熱地域区分Ⅲの寒冷地、積雪地域という特性である為、断熱・気密性能を重視し、低炭素化及び省エネを実現する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	寒冷地・多雪区域という地域の中で生まれ継承されてきた厳しい環境に対する住宅様式への知恵や技術を受け継ぎながらも最新の技術を常に盛り込みながら耐震性・省エネ断熱・耐久性の向上に努めていく。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	当グループのある青森県三沢市には米軍基地が有り、アメリカとの共存共栄を図りながら国際色豊かな街づくりに取り組んでいる。その一環としてアメリカ村と呼ばれる商店街が構成されており建築物外観はアメリカンテイスト仕上りになっている。そういった背景もあり消費者からの要望も洋風デザインが多いのが現状であるが、日射遮蔽・通風を考慮した深い庇や軒、続き間、障子、土間などの伝統的な和の要素を提案する。	○
④①～③の背景	夏が短く、多湿・冬は積雪量90cm、そして北東から吹く塩分を含んだ冷たく湿った季節風(やませ)で建物、暮らし方に影響を与える地域である。また、地域材として良質なスギ人工林を保有する地域でもある。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○グループで指定する地域材を主要構造部に50%以上使用。 ○C値1.0cm以下の気密性能を確保 ○ヒートポンプ式暖房設備機器の採用。	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-2 使用建材の統一	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-3 標準仕様の設定	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
②-1 建材・資材調達共同化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: グループ役員と事務局により、年4回検討会議を開催。 メンバー: (南)平内建築、山進建設、榊渡辺設計、榊木組工務店、(南宮)古建設工業、榊下久保建材店。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: 構造用木材、断熱構造、商品・規格の統一化、などの提案による実現。	○
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容: 断熱・気密・防水に関わる施工に関し、図説付のマニュアル作成にて施工レベル統一化を図る。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: 24年度から実施している当グループの検査体制にて継続実施。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない ■ ある → 内容: 使用する資材・建材等のコストにバラつきが生じないよう共通の見積書を作成し、活用する。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: ○構成員の知識や技術力向上の為、研修会・連絡会の随時開催と情報の共有化。 ○受注から維持管理までのフローチャートの作成とそれによる普及啓発活動。 ○施主向けの住まいづくり相談の実施と建設過程やコスト等の透明化。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 十和田湖杉活用住宅「Waのいえ」	(地域型住宅供給対象地域) 青森県三八上北地域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 地場工務店 二代目が集結【しんけん会】	(結成年) 2003 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0327-0030	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: クラウド住宅履歴情報管理システムJHOP『AnyOne』への情報蓄積の義務、情報の管理・活用指針を基にメンテナンス体制を構築する。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内でJHOP『AnyOne』を常時確認できるようにしている。	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 統一の点検項目チェックリストを作成し使用。	◎
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記を利用し、統一の補修項目チェックリストを作成し使用。	◎
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記チェックリストを使用し確認。	◎
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ㈱LIXILとコラボし、水廻りお手入れ提案会、年1回実施。	◎
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ㈲下斗米木工所による木工工作教室(毎回テーマ別でイス、本立て等)を年1回の開催実施。	◎
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 受付担当者:㈱渡辺設計によるリフォームなんでも相談会、年1回の実施。	◎
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ㈱サンロク、㈱沼山建業、㈱鷹架工務店の3社により、年2回の検討会実施。	◎
⑤	その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅あんしん保証又はハウスプラス住宅保証等の住宅完成保証への加入の義務付け。	○
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年2回、経験者である構成員から、長寿命型住宅・高度省エネ型住宅への推進を図る。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域におけるグループの認知度向上の為の広報活動、地域型住宅の性能担保とより効率的な施工の合理化の検証、地域の施工事業者に対する長期優良住宅供給のサポートの充実、地域の住宅資材のさらなる活用、長寿命型住宅・高度省エネ型住宅・優良建築物の供給に取り組めるよう体制強化を図る。	◎
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ講習等のグループ内での定期的な実施。	◎
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 52 今年度の参加目標人数 10 当グループ関係者は、ほぼ終了者。	◎
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 0	
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
c		
①	新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 青森建築士会との連携による省エネ技術講習会の実施。	◎
②	新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。



